

諏訪湖環境研究センター 調査研究部の業務

主要課題

サブ項目

水質
保全班
8名

生態系
保全班
4名

【重点1】

- ・ 気候変動に伴う諏訪湖の物質循環の構造変化に関する研究（R7～R10年度）

- ・ プランクトンの生産構造
- ・ 諏訪湖底質や沈殿物の挙動
- ・ 貧酸素水塊や成層構造

【重点2】

- ・ 流域視点からの水環境保全・改善に向けた物質動態の解明（R7～R9年度）

- ・ 流入河川負荷量
- ・ マイクロプラスチック
- ・ ネオニコチノイド系農薬

【重点3】

- ・ 湖沼沿岸帯の生物多様性保全を目指した適正な生物管理に関する研究（R7～R9年度）

- ・ 希少種・水産資源の保全
- ・ 水草の適正管理
- ・ 外来生物駆除管理

【緊急対応】

- ・ 微量化学物質の環境残留実態の解明と効果的な環境モニタリング（R7～R8年度）

- ・ PFASの実態調査
- ・ 危機管理対応

【基盤業務】

- ・ 法定分析業務
- ・ 依頼・受託業務

- ・ 水質常時監視業務（諏訪湖他）
- ・ 酸性雨モニタリング（受託）
- ・ 化学物質分析法開発（受託）
- ・ 下水道汚泥の利活用（依頼）

【探求型研究（外部資金による研究）】

- ・ ダム上下の水生昆虫相
- ・ 陸生昆虫の遊泳行動

3つの重点研究

水質と生態系の適正バランスを目指す

重点2 流域の物質動態

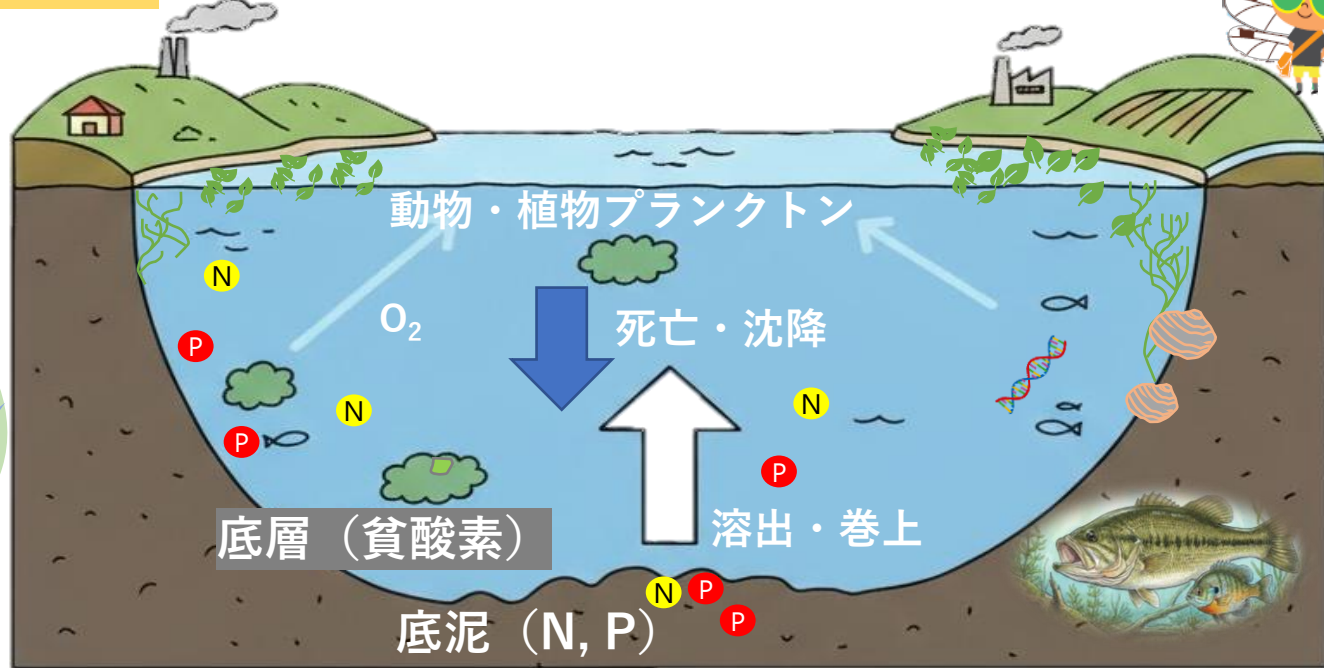
- ・汚濁負荷
- ・農薬、化学物質
- ・マイクロプラスチック (MPs)



気候 変動

重点1 湖沼の物質循環

- ・プランクトンの生産
- ・底質・沈殿物の水質影響
- ・貧酸素水塊や成層構造



重点3 沿岸帯の生物保全・管理

- ・希少種・水産資源の保全
- ・水草の適正管理
- ・外来魚の駆除管理



重点1	気候変動に伴う諏訪湖の物質循環の構造変化に関する研究	(R7～R10年度)	R7予算額	15,369 千円
重点2	流域視点からの水環境保全・改善に向けた物質動態の解明	(R7～R9年度)	R7予算額	1,283 千円
重点3	湖沼沿岸帯の生物多様性保全を目指した適正な生物管理に関する研究	(R7～R9年度)	R7予算額	12,541 千円